



パンフレットNo. AP071

1999年 9月作成

工 業 用

直接染料用フィックス剤

ダイヤフィックス

(D Y E R F I X)

ダイヤフィックスはジシアン系液体フィックス剤です。直接染料で染色されたセルロース系繊維染色物の洗濯・熱湯・汗・水堅牢度等の湿潤堅牢度向上に顕著な効果を発揮します。

性 質 ・ 性 状

外 観	無色透明液体
成 分	水溶性カチオンポリマー（ジシアン型）
イ オ ン 性	カチオン
p H	約 5.5（1%水溶液）
溶 解 性	任意の水に溶解します。
そ の 他	本品の原料成分としてホルマリンが用いられております。使用に当たっては被処理物の用途、関連法規等に充分ご注意下さい。

特 徴

1. ダイヤフィックスは直接染料染色物の水・熱湯・洗濯・汗堅牢度等の湿潤堅牢度向上に優れた効果を発揮します。
2. ダイヤフィックスは液体品であるため従来の粉末品に比べ、溶解性が良好で、作業性に優れています。



使用 方 法

使用する染料の種類・濃度、被染物の種類・形態、処理法により異なりますが、一般的には下記の通りです。

染料濃度	ダイヤフィックス使用量
淡 色	2 ～ 4 % o. w. f.
中 濃 色	4 ～ 6 % o. w. f.

40 ～ 60℃ × 15 ～ 20分処理した後、水洗・乾燥します。

脱フィックス処方

ダイヤフィックスの脱フィックス処方としては、還元－酸化処理法が効果的です。

還元－酸化法

還元工程

ハイドロサルファイト	3 ～ 5 g/L	90～100℃ × 20～30分
ソーダ灰	1 ～ 2 g/L	

酸化工程

過酸化水素（35%）	3 ～ 5 cc/L	90～100℃ × 20～30分
ソーダ灰	1 ～ 2 g/L	
EDTA・4Na	0 ～ 1 g/L	
エフカッター800	2 ～ 3 g/L	

- ・含金属系染料により染色されている場合や、用水中の金属イオン濃度が高い場合等、金属によるトラブルが生じるおそれのある場合には、酸化処理浴にキレート剤（EDTA・4Na等）を併用して下さい。
- ・酸化処理後、繊維上に過酸化水素が残留しないよう十分に水洗して下さい。
（必要に応じて、脱過酸化水素処理を行って下さい。）
- ・被染物の色相、フィックス剤の使用量によっては還元工程でエフカッター800を使用し、酸化工程を省いた一浴一段処理法によっても脱フィックス可能です。



ダイヤフィックス

ご 注 意

使用に際しましては充分試験の上ご使用下さい。

入 目

1 8 kg

取扱いおよび保管上の注意事項

- 1) 取扱い中は、直接身体に触れないように保護手袋、保護メガネを着用して下さい。
- 2) もし誤って眼や口に入ったときは、直ちに流水でよく洗い流し医師の手当てを受けて下さい。
- 3) 皮膚に直接触れた場合は、直ちに流水でよく洗い流して下さい。もし発疹その他の異常が生じた場合は速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 4) 取扱い後は手洗い、うがいを充分に行って下さい。
- 5) 使用途中の容器は密閉し、異物が入らないようにして下さい。
- 6) 保管に際しては直射日光を避け、冷暗所（5℃～35℃）で保管して下さい。
- 7) 廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。

お 願 い

弊社発行の「製品安全データシート（MSDS）」を用意しております。併せてご活用下さい。